

ギガビットイーサネット・スイッチ

CentreCOM® GS908XL V2 ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM GS908XL V2をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品は、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tポートを8ポート装備したギガビットイーサネット・スイッチです。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

本製品のご使用にあたって

本製品は、医療・原子力・航空・海運・軍事・宇宙産業など人命に関わる場合や高度な安全性・信頼性を必要とするシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用を意図した設計および製造はされておられません。

したがって、これらのシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで本製品が使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生じて、かかる損害が直接的または間接的または付随的なものであるかどうかにかかわらず、弊社は一切の責任を負いません。

お客様の責任において、このようなシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで使用する場合には、使用環境・条件等に充分配慮し、システムの冗長化などによる故障対策や、誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意願います。

1 特長

- 最大 8K の MAC アドレスを登録可能
オートネゴシエーション機能 (手動切替設定も可能)
Force MDI 機能 (ポート 1~7 を MDI-X、ポート 8 を MDI に固定が可能)
コンフィギュレーションスイッチによりフラッシュ機能の ON/OFF が可能

- BPDU/EAP 透過 (常時有効)
ポートごとの通信状況が一目でわかる LED を装備
9600Byte の Jumbo フレーム対応 (1000Mbps)
ファンレス設計
省エネ機能をサポート

- 使用していないポートの消費電力を自動的に抑える省電力モード (常時有効)
UTP ケーブル長を自動判別し、消費電力を抑えるケーブル長省電力機能 (常時有効)
切替スイッチでポートの LED を消灯させるエコ LED 機能
ポート 1~7 とポート 8 のリンクダウン・給電を連動して切り替えるリンクリレー機能
ポートの非通信時の状態を制御し、消費電力を抑える省電力イーサネット (Energy Efficient Ethernet) (コンフィギュレーションスイッチで ON/OFF が可能)
* 100BASE-TX/1000BASE-T ポートのみ対象
* 接続先機器も本機能をサポートしている場合のみ有効

オプション (別売)

- 壁設置用ブラケット AT-BRKT-J23 により、壁面への設置が可能
マグネット Kit M またはマグネットシート M により、スチール製の壁面への設置が可能
ラックマウントキット AT-RKMT-J08 により、19 インチラックマウントへの設置が可能
電源ケーブル抜け防止金具 AT-RTNR-01 に対応
L 字型コネクタ電源ケーブル AT-PWRCBL-J01R により、奥行きをとらずに設置可能

製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせします。

http://www.allied-telesis.co.jp/

2 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。

- CentreCOM GS908XL V2 本体 (1 台)
電源ケーブル*1 (1.8m、1 本)
製品保証書 (1 部)
製品仕様書 (英文) *2 (1 部)
シリアル番号シール (2 枚)
ユーザーマニュアル (本書)

*1 同梱の電源ケーブルは AC100V 用です。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

同梱の電源ケーブルは本製品専用です。他の電気機器では使用できませんので、ご注意ください。

*2 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本装置が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。



安全のために

必ずお守りください

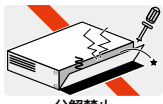


警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物を入れない 水は禁物

火災や感電のおそれがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源ケーブル・プラグを抜き、弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。



異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のある場所には置かない

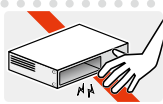
内部回路のショートの原因になり、火災や感電のおそれがあります。



設置場所注意

取り付け・取り外しのときはコネクタ・回路部分にさわらない

感電の原因となります。稼働中に周辺機器の取り付け・取り外し (ホットスワップ) に対応した機器の場合でも、コネクタの接点部分・回路部分にさわらないように注意して作業してください。



感電注意

表示以外の電圧では使用しない

火災や感電の原因となります。製品の取扱説明書に記載の電圧で正しくお使いください。なお、AC 電源製品に付属の電源ケーブルは 100V 用です。ご注意ください。



電圧注意

正しい配線器具を使用する

本製品に付属または取扱説明書に記載のない電源ケーブルや電源アダプター、電源コンセントの使用は火災や感電の原因となります。



正しい器具

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たご足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たご足禁止

設置・移動のときは電源ケーブル・プラグを抜く

感電の原因となります。



ケーブルを抜く

ケーブル類を傷つけない

特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。ケーブル類やプラグの取扱上の注意
・加工しない、傷つけない。
・重いものを載せない。
・熱器具に近づけない、加熱しない。
・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

光源をのぞきこまない

目に傷を被る場合があります。光ファイバーインターフェースを持つ製品をお使いの場合は、光ファイバーケーブルのコネクタ、ケーブルの断面、製品本体のコネクタなどをのぞきこまないでください。



のぞきこまない

適切な部品で正しく設置する

取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります。



正しく設置

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光のあたる場所
暖房器具の近くなどの高温になる場所
急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所 (仕様に定められた環境条件下でご使用ください)
振動の激しい場所
ほこりの多い場所や、ジュースを敷いた場所 (静電気障害の原因となります)
腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊されるおそれがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いには注意

落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤 (中性) をしみこませ、固く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

石油・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん・みがき粉 (化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってください)

3 アイコンの説明

アイコン	意味	説明
	ヒント	知っているると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

4 各部の名称と機能

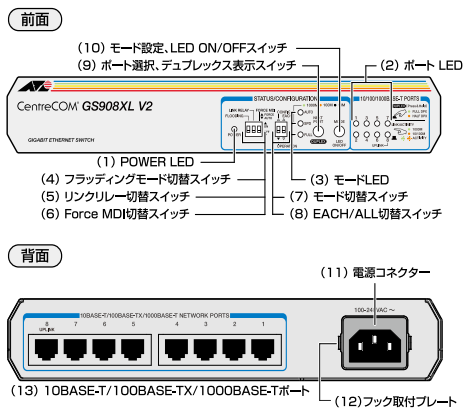


図 1 外観図

① POWER LED (緑)

電源が正しく供給されているときに点灯します。

② ポート LED

L/A LED (LINK/ACT LED) (緑 / 橙)

ポートと接続先の機器がリンクしたときに点灯します。1000Mbps で動作しているときに緑で点灯し、10Mbps/100Mbps で動作しているときに橙で点灯します。ポートがパケットを受受信しているときに点滅します。

DUPLEX LED (緑 / 橙)

「ポート選択、デュプレックス表示スイッチ」を押している間のみ、Full Duplex/Half Duplex を表示します。Full Duplex で動作しているときは緑で点灯し、Half Duplex で動作しているときは橙で点灯します。

SEL LED (緑)

モード切替スイッチが「CONFIG」(上) 側のときに、選択しているポートを表示します。EACH/ALL 切替スイッチが「ALL」(下) 側のときは、全てのポートが点滅します。

③ モード LED

モード設定スイッチが「CONFIG」(上) 側のときに、設定するモード (AUTO、SPD、FULL) を表示します。

AUTO LED (緑)

オートネゴシエーションに設定すると点灯します。

SPD LED (緑 / 橙)

ポートの速度を表示します。1000Mbps に設定すると緑で点灯し、100Mbps に設定すると橙で点灯します。10Mbps に設定すると消灯します。

FULL LED (緑)

ポートの Full Duplex/Half Duplex を表示します。Full Duplex に設定すると緑で点灯し、Half Duplex に設定すると消灯します。

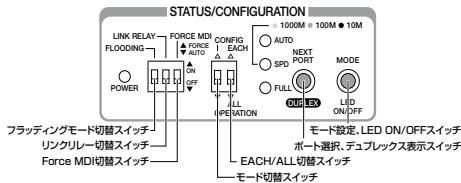


図 2 コンフィグレーションスイッチ

④ フラッディングモード切替スイッチ

フラッディングモード有効 (ON)/ 無効 (OFF) を切り替えるためのスイッチです。出荷時設定は「通常動作モード (OFF)」(下) 側です。

フラッディングモードに設定すると、接続されたすべてのポート (ノード) へパケットが転送されます。また、その際、フローコントロール機能は無効に設定されます。



フラッディングモードの設定は即時反映されます。リンク状態のポートは、一度リンクが切断されます。

⑤ リンクリレー切替スイッチ

リンクリレー機能の有効 (ON)/ 無効 (OFF) を設定するスイッチです。出荷時設定は「無効 (OFF)」(下) 側です。

リンクリレー機能とは、アップリンクポート (ポート 8) あるいはすべてのダウンリンクポート (ポート 1-7) のいずれか一方のリンクが切断された場合、もう一方のリンクを強制的に切断して、待機電力を低減する機能です。



ポートに機器が接続されているにもかかわらず正常にリンクしない場合、リンクリレー機能が動作している場合があります。

⑥ Force MDI 切替スイッチ

MDI/MDI-X の設定を、Force MDI (FORCE)、または MDI/MDI-X 自動認識 (AUTO) に切り替えるためのスイッチです。同時に、省電力イーサネット機能の有効 (ON)、無効 (OFF) も切り替わります。出荷時設定は「MDI/MDI-X 自動認識 (AUTO) ・省電力イーサネット機能無効 (OFF)」(下) 側です。

設定は、スイッチを切り替えたあとすぐに反映されます。

スイッチを上側にする、Force MDI が有効になり、1 ~ 7 番ポートが MDI-X、8 番ポートが MDI で固定されます。この場合、MDI-X ポート同士をストレートケーブルで誤って接続してもリンクアップしないため、ループの発生を未然に防ぐことができます。また、省電力イーサネット機能も有効になります。



設定は即時反映されます。リンク状態のポートは、一度リンクが切断されます。

⑦ モード切替スイッチ

通常動作モード (OPERATION) または設定モード (CONFIG) を切り替えるためのスイッチです。出荷時設定は「通常動作モード (OPERATION)」(下) 側です。

OPERATION (スイッチが下側の状態)

ポートのモード設定がされていて、そのモードで通信ができる状態です。

CONFIG (スイッチが上側の状態)

モード設定スイッチを使用して、ポートのモード設定が可能な状態です。



- ・ポートのモード設定中に通信を行うことができます。
- ・ポートの設定は、モード切替スイッチを「OPERATION」(下) 側に戻すと有効になります。リンク状態のポートは、一度リンクが切断されます。

⑧ EACH/ALL 切替スイッチ

設定をポートごとに行うか、全ポート同時に行うかを選択するためのスイッチです。出荷時設定は「ALL」(下) 側です。

「ALL」(下) 側に設定すると、全ポート同時にモード設定が行えます。スイッチを「EACH」(上) 側に設定すると、ポート選択スイッチで選択したポートの設定が行えます。

⑨ ポート選択、デュプレックス表示スイッチ

ポート選択

ポートを選択するためのスイッチです。EACH/ALL 切替スイッチを「EACH」(上) 側に設定し、ポート選択スイッチを押すごとに、選択したポートが次のポートへ移動します。最終ポート (ポート 8) まで移動すると、再びポート 1 へ戻ります。

デュプレックス

デュプレックスを表示するためのスイッチです。モード切替スイッチが「OPERATION」(下) 側のときに、このボタンを押している間のみ、各ポートの Full Duplex/Half Duplex を表示します。

⑩ モード設定、LED ON/OFF スイッチ

モード設定

ポートの設定を変更するためのスイッチです。出荷時設定は「AUTO」(オートネゴシエーション) に設定されています。

スイッチを押すごとにモードが切り替わります。モードは、AUTO、SPD、FULL LED の点灯によって表示されます。

モード設定スイッチ	モード	LED表示		
MODE	AUTO NEGOTIATION	AUTO	SPD	FULL
①	1000M FULL AUTO	AUTO	SPD	FULL
②	100M FULL	AUTO	SPD	FULL
③	100M HALF	AUTO	SPD	FULL
④	10M FULL	AUTO	SPD	FULL
⑤	10M HALF	AUTO	SPD	FULL

表 1 モードと LED 表示の切り替わり



注意 ポートの速度を 1000Mbps で固定した場合、1000Mbps のみの接続を許可するオートネゴシエーションとなります。

LED ON/OFF

モード切替スイッチが「OPERATION」(下) 側のときに、LED の点灯・消灯を切り替えるボタンです。

LED による機器監視が不要なときに、LED を消灯させることで、電力消費を抑えて省エネの効果を得ることができます (エコ LED)。

ボタンを 1 秒以上押すと、ポート LED が消灯します。

⑪ 電源コネクタ

電源ケーブルを接続するためのコネクタです。同梱の電源ケーブルは AC100V 用です。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

⑫ フック取付プレート

オプション (別売) の電源ケーブル抜け防止フックを取り付けるプレートです。

⑬ 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の UTP ケーブルを接続するためのコネクタです。

5 設置

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。

設置方法

本製品は、次の方法による設置ができます。

- 平らなところへの水平方向の設置

オプション（別売）を利用することにより、次の方法による設置ができます。

- ラックマウントキットによる 19 インチラックへの設置
- 壁設置ブラケットによる壁面への設置
- 壁設置用磁石によるスチール製壁面への設置



・弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

・水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほこりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。



・電源部が下向きになる方向で設置する場合には、必ず、オプション（別売）の電源ケーブル抜け防止金具（AT-RTNR-01）を使用し、電源ケーブルを固定してください。

・製品に関する最新情報は弊社ホームページにて公開しておりますので、設置の際は、付属のマニュアルとあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

設置準備

● 設置するときの注意

本製品を設置する場所を確認してください。設置場所については、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- 底部を上にして設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。
- 本体の上にものを置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクタの端子にはさわらないでください（静電気を帯びた手（体）でコネクタの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります）。

設置

● 平らなところへの水平方向の設置

本製品は、ゴム足を取り付けた状態で出荷されますので、そのままデスクの上などの平らなところに設置して使用できます。

オプション（別売）を利用した設置

● 19 インチラックへの設置

本製品を 19 インチラックに取り付ける場合には、オプションの 19 インチラックマウントキット AT-RKMT-J08 をご使用ください。

- ・ラックマウントキットの使用法は、AT-RKMT-J08 の取扱説明書をご参照ください。
- ・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。



図 3 19 インチラックマウントキットを使用する場合の設置方向



・必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

・本製品をオプションの 19 インチラックマウントキットを使用して 19 インチラックに取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

・ラックマウントキットの本製品への取り付けは、ラックマウントキットの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外のネジなどを使用した場合、火災や感電、故障の原因となることがあります。

● 壁設置ブラケットによる設置

本製品の壁面への設置は、別売の壁設置ブラケット AT-BRKT-J23 を使用し、以下の点に注意して行ってください。

- ・壁設置ブラケットの使用法は、AT-BRKT-J23 の取扱説明書をご参照ください。
- ・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。



図 4 壁設置ブラケットを使用する場合の設置方向



・壁設置ブラケットに取り付け用ネジは同梱されていません。別途ご用意ください。

・壁設置ブラケットを使用する際は、本製品のゴム足を外した状態で設置してください。



・必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

・壁設置ブラケットを使用して壁面に取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

● マグネットによる設置

本製品のスチール製壁面への設置は、別売のマグネット Kit M またはマグネットシート M を使用し、以下の点に注意して行ってください。

- ・マグネットキット M / マグネットシート M の使用法は、マグネット Kit M / マグネットシート M の取扱説明書をご参照ください。
- ・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。



図 5 マグネットキットを使用する場合の設置方向



設置面の状態によっては、マグネットの十分な強度を得られない場合があります。



・必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

・マグネットの取り付けおよび機器の設置は、ケーブルなどの重みにより機器が落下しないように確実に行ってください。ケガや機器破損の原因となるおそれがあります。

・マグネットの取り付けは、マグネットキット / マグネットシートの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外のネジなどを使用した場合、火災や感電、故障の原因となることがあります。

6 接続

ネットワーク機器の接続

● UTP ケーブルの接続

UTP ケーブルを使用して本製品と PC などの端末を接続します。本体の LAN ポート（RJ-45）に UTP ケーブルの一端を接続し、もう一端をネットワークポートに接続します。



UTP ケーブルのコネクター部を持ち、カチッと音がするまで差し込んでください。

● UTP ケーブルのカテゴリ

10BASE-T 接続の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上、1000BASE-T 接続の場合は、エンハンスド・カテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを使用します。

● UTP ケーブルのタイプ

本製品は MDI/MDI-X 自動認識機能をサポートしています。Force MDI 切替スイッチが AUTO（デフォルト）に設定されている場合、接続先の種類（MDI/MDI-X）を意識することなく、どちらのケーブルタイプ（ストレート / クロス）でも使用できます。

Force MDI 切替スイッチを FORCE に設定した場合、本製品は 1～7 番ポートが MDI-X、8 番ポートが MDI で固定されます。この場合、接続先のポートが MDI の場合は、1～7 番ポートとストレートケーブルで、8 番ポートとはクロスケーブルで接続することができます。また、接続先のポートが MDI-X の場合は、1～7 番ポートとクロスケーブルで、8 番ポートとはストレートケーブルで接続することができます。

● UTP ケーブルの長さ

本製品とネットワーク機器を接続する長さは 100m 以内にしてください。

電源の接続（本製品の起動）

本製品では、次の電源ケーブルを使用できます。

- 同梱の電源ケーブル（AC100V 用）
 - オプション（別売）の L 字型コネクター電源ケーブル
- ・背面スペースが限られた場所でも、奥行きをとらずに設置できます。
- ・AT-PWRCL-J01R



同梱の電源ケーブルは AC100V 用です。本製品を AC200V で使用する場合は、設置業者にご相談ください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。



本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

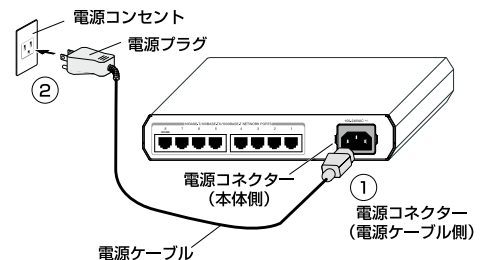


図 6 電源ケーブルの接続

1. 本体側の電源コネクターを接続します。

図 6 の①をご覧ください。



電源ケーブル抜け防止対策として、オプション（別売）の電源ケーブル抜け防止金具（AT-RTNR-01）をご使用いただけます。



オプション（別売）の L 字型コネクター電源ケーブルと電源ケーブル抜け防止金具は、同時に使用できません。（L 字型コネクター電源ケーブルは、同梱の電源ケーブルに比べて抜けないケーブルです。）

2. 電源プラグを電源コンセントに接続します。

図6の②をご覧ください。

このとき、本体前面の「POWER LED」が緑で点灯することを確認してください。

UTPケーブルが正しく接続され、接続先機器とのリンクが確立されると、接続したポートの「L/A LED」が緑または橙で点灯します。

本製品の停止

本製品を停止するには電源コンセント側の電源プラグを抜いてください。

警告 電源を抜くときには、本体側の接続を先に抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

ヒント 本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。

7 構成

本製品はスタンドアロンでご使用いただけるほか、下図のとおりカスケード接続でもご使用いただけます。

カスケード接続

本製品はMDI/MDI-X自動認識機能をサポートしています。Force MDI切替スイッチがAUTO(デフォルト)に設定されている場合、接続先の種類(MDI/MDI-X)にかかわらず、どちらのケーブルタイプ(ストレート/クロス)でも使用できます。

Force MDI切替スイッチをFORCEに設定した場合は、8番ポートがMDIで固定されます。(MDI-Xの接続先ポートとストレートタイプでケーブル接続ができます。)

ヒント スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

注意 ポートのスピードを10Mbps、100Mbpsで固定した場合、MDI/MDI-X自動認識機能は無効となり、MDI-Xが設定されます。

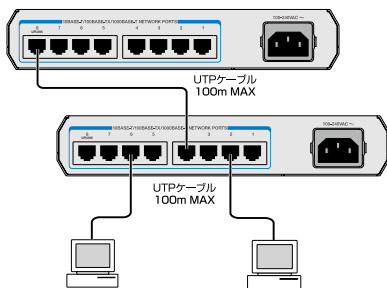


図7 カスケード接続

8 設定

通信速度 / モードの設定

本製品と接続先機器のモードは、次の表の○印の組み合わせになるように設定してください。

接続先ポート	CentreCOM GS908XL V2				
	10M HALF	10M FULL	100M HALF	100M FULL	AUTO
10M	HALF	○	—	—	○
	FULL	—	○	—	—
100M	HALF	—	—	○	○
	FULL	—	—	—	○
AUTO	○	—	○	—	○

表2 接続先の機器との組み合わせ (10Mbps、100Mbps)

● モードの設定手順

接続先の機器がオートネゴシエーションをサポートしていない場合、本製品のモードが「AUTO」(オートネゴシエーション)に設定されていると、「10M FULL」、「100M FULL」での接続ができなくなります。

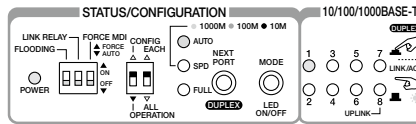
この場合、モード設定スイッチを使用して、本製品のモードを手動で設定します。

ここでは例として、ポート3を出荷時設定から「100M FULL」に設定する方法を説明します。

1. EACH/ALL切替スイッチを「EACH」(上)側に設定します。

2. モード切替スイッチを「CONFIG」(上)側に設定します。

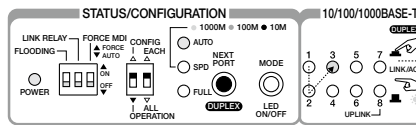
モードLEDの「AUTO」(オートネゴシエーション)が点灯し、ポートLEDの「SEL LED 1」が点滅している状態です。



ヒント EACH/ALL切替スイッチがALL(下)側のときに、モード切替スイッチをCONFIG(上)側にすると、すでに設定済みのポートに対しても、ポートの設定を上書きします。出荷時設定に戻す際などにご活用いただけます。

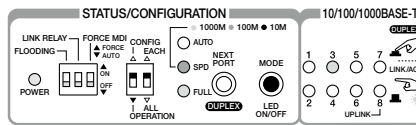
3. ポート選択スイッチを使用して、ポート3まで移動します。

ポート選択スイッチを2回押して、ポート3まで移動します。ポートLEDの「SEL LED 3」が点滅している状態です。



4. モード設定、LED ON/OFFスイッチを使用して、モードを100M FULLに設定します。

モード設定、LED ON/OFFスイッチを2回押して、100M FULLに設定します。モードLEDの「SPD」が橙で点灯し、「FULL」が緑で点灯している状態です。



5. モード切替スイッチを「OPERATION」(下)側に戻します。

ポートのモード設定が有効となり、再起動後も同じ設定で本製品を使用できます。

以上で「ポート3」を「100M FULL」に設定するための手順が終了しました。

9 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● POWER LEDは点灯していますか?

「POWER LED」が点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がなく正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

● 機器を停止後、すぐに起動していませんか?

本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。

● L/A LED(LINK/ACT LED)は点灯していますか?

「L/A LED」は接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

○ 接続先機器に電源が入っていることを確認してください。接続先機器が障害がなく通信可能な状態にあることを確認してください。

○ 本製品のリンクリレー機能により回線が切断されていないかどうか確認してください。リンクリレー切替スイッチをいったんオフにし、各機器が正常にリンクするかどうかを確認してください。

○ 新しいUTPケーブルが断線なく正しく接続されていることを確認してください。

○ UTPケーブルに問題がないか確認してください。

UTPケーブルの不良は外観からは判断しにくい(結線が良いが特性が悪い場合など)、他のUTPケーブルに交換して試してみてください。

Force MDI切替スイッチがAUTO(デフォルト)に設定されている場合、接続先の種類(MDI/MDI-X)を意識することなく、どちらのケーブルタイプ(ストレート/クロス)でも使用できます。

Force MDI切替スイッチをForceに設定した場合、本製品は1~7番ポートがMDI-X、8番ポートがMDIで固定されます。この場合、接続先のポートがMDIの場合は、1~7番ポートとストレートケーブルで、8番ポートとはクロスケーブルで接続することができます。また、接続先のポートがMDI-Xの場合は、1~7番ポートとクロスケーブルで、8番ポートとはストレートケーブルで接続することができます。

○ UTPケーブルの長さが制限を超えていないことを確認してください。2つのネットワーク機器の直接リンクを構成するUTPケーブルは最長100mと規定されています。

○ UTPケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。特定のポートが故障している可能性もあります。

○ 接続先機器の通信モードを確認してください。

本製品のポートは、オートネゴシエーション機能をサポートしています。接続先機器がIEEE 802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない場合は、接続先機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

10 製品仕様

標準規格	
	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3az Energy-Efficient Ethernet IEEE 802.3x Flow Control
適合規格	
安全規格	UL60950-1, CSA-C22.2 No.60950-1
EMI規格	VCCIクラスB
EU RoHS 指令	
電源部	
定格入力電圧	AC100-240V
入力電圧範囲	AC 90-264V
定格周波数	50/60Hz
定格入力電流	0.2A
最大入力電流(実測値)	0.15A
平均消費電力	5.9W(最大6.9W)
平均発熱量	21kJ/h(最大25kJ/h)
環境条件	
動作時温度	0~50℃
動作時湿度	80%以下(結露なきこと)
保管時温度	-20~60℃
保管時湿度	95%以下(結露なきこと)
外形寸法(突起部を含みます)	
	210(W) x 121(D) x 38(H) mm
質量	
	840g
スイッチング方式	
	ストア&フォワード
MACアドレス登録数	
	8K(最大)
MACアドレス保持時間	
	300~600秒
メモリ容量	
バケットバッファ容量	512KByte
フラッシュメモリ	128KByte

11 保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレスイス株式会社 修理受付窓口

<http://www.allied-tesis.co.jp/support/repair/>

☎ 0120-860332

携帯電話／PHS からは： 045-476-6218

月～金（祝・祭日を除く） 9:00～12:00

13:00～17:00

● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）につきましても、弊社はその責を一切負わないものとします。

12 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

アライドテレスイス株式会社 サポートセンター

<http://www.allied-tesis.co.jp/support/info/>

☎ 0120-860772

携帯電話／PHS からは： 045-476-6203

月～金（祝・祭日を除く） 9:00～12:00

13:00～17:00

13 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。なお、都合により連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

● 一般事項

すでに「サポート ID 番号」を取得している場合、サポート ID 番号をお知らせください。サポート ID 番号をお知らせいただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただけてまいります。

- サポートの依頼日
- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

● 製品について

シリアル番号 (S/N)、リビジョン (Rev) をお知らせください。

シリアル番号とリビジョンは、本体に貼付されている（製品に同梱されている）シリアル番号シールに記載されています。

(例)



S/N 以降のひと続きの文字列がシリアル番号、スペース以降のアルファベットで始まる文字列（上記例の「A1」部分）がリビジョンです。

● 設定や LED の点灯状態について

- LED の点灯状態をお知らせください。
- スイッチ類の設定状態をお知らせください。

● お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）お知らせください。

● ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をお送りください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

14 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレスイス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレスイスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレスイスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2014-2016 アライドテレスイスホールディングス株式会社

15 商標について

CentreCOM は、アライドテレスイスホールディングス株式会社の登録商標です。

16 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

17 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

18 輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。

弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

19 マニュアルバージョン

2014年3月	Rev.A	初版
2015年3月	Rev.B	第2版
2016年11月	Rev.C	第3版